

ふじえだ ^{イクジィ}育G 応援プロジェクト その11

地域で広げよう! 孫育ての和

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

自分のライフスタイルも大切に

孫が生まれると、娘や息子、孫のためにと、頑張り過ぎてしまう人も多いようです。

子育てで、親離れ、子離れがあったと同じように、孫育てにも必ず祖父母離れがやってきます。そのときのためにも、自分の趣味や好きなこと、夫婦・友人とのお付き合いなど、自分の時間も大切にしましょう。

子どもが好きな大人は、楽しそうな人、自分が知らない世界を見せてくれる人。孫が大きくなったときに、じいじばあば

の趣味に、孫が興味を持つかもしれません。

孫の祖父母離れの時期は、子育てのときよりも早く、小学校に上がるくらいにやってきます。孫が「じいじばあばのところへいくより、友達と遊びたい!」と言うようになったら、孫が成長した証。さみしいと嘆くよりも、成長を喜びましょう。

イラスト:Hina



アドバイザー

ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

自慢ではないが天才だと思っている



今月の育G

西尾 直紀さん (58歳)

職業: 会社員

住所: 市内高柳3丁目

孫 : 男の子(3歳)、女の子(2ヶ月)

初孫誕生の一報を受けてから、とにかく会いたくて、抱っこしたくてうずうずしていたが、遠くに住んでいるので対面できたのは1ヶ月後だった。最近では電車が大好きになり、「のぞみ」「はやぶさ」「みずほ」「あずさ」など全部名前を言えるようになった。自慢ではないが天才だと思っている。大井川鐵道の機関車トーマスを観に行ったりは、鼻血を出すほど大興奮していた。家内に内緒のへそくりで高さ5mのこいのぼりを買ってしまうほど常に何をしたら喜んでもらえるかを考えている。今はたまにしか会えないが、一緒に暮らしたらもっともっと楽しいだろうと思う。

〜 自慢の孫フォト 〜



航(わたる)くん、悠那(ゆうな)ちゃん

藤枝市からの子育て情報



子ども・子育て支援サイト&スマートフォンアプリ
「ママフレ藤枝」をご利用ください

「ママフレ藤枝」では、子育て関連の行政サービスや施設情報等の閲覧ができます。アプリでは電子母子健康手帳や予防接種記録、プッシュ通知機能のほか、地図上で教育・保育施設や「あかちゃん駅」を検索できる施設マップなど便利な機能が満載です。ぜひ、ご利用ください。

ママフレ藤枝
webページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
アクセスしご覧いただいた
感想をお寄せください♪